



第732号  
平成29年1月1日

**方面総監統率方針  
任務完遂**  
方面総監要望事項  
**使命の自覚  
錬磨即応  
地域との連携**

陸上自衛隊  
北部方面隊広報紙  
発行：北部方面隊総監部広報室

北部方面隊  
ホームページ  
<http://www.mod.go.jp/gsd/nae/>



### 年頭の辞

北部方面総監

陸将 山崎 幸二



明けましておめでとうございます。方面隊の隊員諸君、ご家族の皆様、そして平素より御支援を頂いております協力諸団体を始め地域の皆様におかれましては、健康な新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、我が国を取り巻く安全保障環境がより一層厳しさを増す中、国内においては、熊本県の大震災やこれまで経験したことのない未曾有の被害をもたらした複数の台風が道内に接近・上陸する等、国家、地域社会として平素から

らの危機管理の重要性を再認識する年でした。この中にあり、北部方面隊は、陸上自衛隊最大の編成・装備を有する方面隊として、「北海道のあらゆる事態への対処」「道外で発生する各種事態への対処」「グローバル及びアジア太平洋地域の安全保障環境への構築・改善への貢献」「陸上自衛隊の能力向上に資する基盤の整備」の役割を果たすため、日夜、任務完遂に邁進しております。このため陸上自衛隊の総合戦闘力の最大限発揮を演練する北部方面隊総合戦闘力演習、統合運用能力向上を図る北部地域自衛隊統合演習、南西地域へ戦略機動し統合機動防衛力の構築に貢献する協同転地演習、即応機動する陸上自衛隊の新たな戦い方を創造するための部隊実験支援、原子力総合防災演習への参加を通じて任務遂行能力を高めるとともに、平成28年熊本地震に伴う災害派遣、激甚災害に指定された道内への台風の接近・上陸に伴う災害派遣、国際平和協力活動待機南スーダン派遣施設隊第10次要員派遣等、国内外における広範多岐にわたる行動を通じて、国内外での与えられた任務を見事に完遂しました。これもひとえに、高い使命感と旺盛な士気をもって日々の職務に精励した部隊・隊員の諸君、隊員ご家族の皆様、そして、いつも熱いご支援を頂いている地域の皆様のお陰と心より感謝しているところであります。

本年は、陸上自衛隊にとり、現在の我が国の厳しい安全保障環境に的確に対応し、国家安全保障戦略を踏まえて策定された現防衛計画の大綱等に示す「統合機動防衛力」、中でも「即応機動する陸上防衛力」の構築に向け、創隊以来の大改革を推進する重要な年であります。陸上自衛隊の基盤杭である北部方面隊は、この大改革を推進するため、前述の4つの役割を遂行できる「強靱かつ健全な北部方面隊」「いつ何なる任務にも即応し、これを完遂できる北部方面隊」の育成に邁進しなければなりません。これまでの方面隊の良き伝統を受け継ぎ、現在の北部方面隊を取り巻く環境に的確に対応し、「時代の要請に応える北部方面隊の創造」に向け、全隊員が一丸となり体制改革に取り組む所存であります。今日は、いつ、何が起ころうともおかしな時代であります。国家としての「最後の砦」である陸上自衛隊に対する期待は大きく、我々は、必ず、その期待に応えなければなりません。「任務」は我々の全てであり、その任務を「完遂」することが実力集団である我々の存在意義であります。

新年にあたり、部隊にあつては、自己の使命を強く自覚し、日々の厳しい訓練を積み重ね、国内外でのいつ何なる任務も完遂できる部隊を目指し、「万事、作戦を基準」に行動し、尚一層、隊務に精励することを改めて要望します。そして、我々が対処すべき事態が発生したならば、その実力をもって颯爽と立ち上がり、国家、国民の、そして、道民の負託に応えることを期待します。最後に、本年が隊員諸君とご家族の皆様、協力諸団体を始め地域の皆様にとり、輝かしい希望に満ちた年となりますよう心からお祈り申し上げ、また、引き続き、ご支援、協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 北海道知事

高橋 はるみ



明けましておめでとうございます。北部方面隊の皆様におかれましては、平素から道政へのご理解とご協力を賜りますとともに、我が国の防衛はもとより災害時の救援活動など、道民の安全と安心を確保する上で大変大きな役割を担っていただいております。心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月中旬以降相次いだ台風等に伴う記録的な豪雨により、道内各地で未曾有の被害が発生しました。北部方面隊の皆様には、苛酷な現場での救助や行方不明者の捜索、入浴支援や給水活動といった生活支援など、多岐にわたる大変なご尽力を賜りました。

また、元自衛官でいらっしゃる8名の道職員の方々には、被災市町村にいち早く赴き、自衛隊での豊富な経験を活かし、首長に適切なアドバイスを行うなど、大いに活躍いただいたところであります。

さらには、災害後に設置した検証委員会にオブザーバーとして参画いただいているほか、10月に行った道の防災総合訓練では、隊友会の皆様を招き、自衛隊の皆様のご協力をいただいたところであります。重ねて感謝申し上げます。

私といたしましては、この度の災害を踏まえ、平時からの災害に備えた体制を整備することの重要性を改めて認識したところであります。皆様におかれましては、道民の安全・安心のため、引き続き、協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、明るく希望に満ちた年となりますこと心からお祈り申し上げます。

### 北海道自衛隊協力会連合会会長

伊藤 義郎



山崎幸二総監をはじめ、陸上自衛隊北部方面隊の皆様と心を通わせている皆様、加えて北海道の防衛配置に就いておられます航空自衛隊と海上自衛隊の皆様、平成29年の新春のお慶びを申し上げます。

我が国の最強の精鋭部隊である北部方面隊は、国の防衛はもとより、国際協力の参加も多く、また、北海道の各地に駐屯し、四面海に囲まれた国境のある北海道の防衛に貢献されています。

北部方面隊と航空自衛隊、海上自衛隊の各部隊は防衛大綱と中期防衛計画に定め、恵まれた演習場で、本年も一層精進な部隊であられることを期待致します。最近では自然災害も多く、本年の災害の無いことを祈りますが、不幸にも発生する災害への救援にも備えて下さい。

最後に、北海道の自衛隊、総監を始め、隊員各位とご家族の皆様のご健康をお祈りして、私の新春のご挨拶と致します。

### 公益社団法人隊友会 北海道隊友会連合会会長

酒巻 尚生



北部方面隊の隊員並びにご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成29年の夜明けを皆様おそろいでお健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。特に、遠く南スーダンの地で幾多の困難な情勢の下、大任を完遂されて昨年未だ無事帰還を果たされました派遣隊長以下全

隊員の皆様方に対し、改めて深甚の敬意と謝意を表しますとともに、自衛官OBとして大なる誇りを感じている次第であります。

陸上自衛隊の基盤杭としての北部方面隊が国内外において果たすべき役割は、今後ますます広範多岐に亘るものとなっていくことが予測されます。隊員の皆様におかれましては、日々の鍛錬を着実に積み上げつつ、精進無比な方面隊の一員として引き続き「有事即応」の体制を堅持されますよう祈念いたします。

北海道隊友会は、今後とも微力を尽くして皆様方のご支援・ご協力に努めてまいりますので、なお一層のご理解並びにご指導を賜りますようお願い申し上げます。

### 北海道自衛隊退職者雇用協議会会長

岩田 圭剛



新年明けましておめでとうございます。当協議会は道内合わせて約千六百社の会員を擁し、退職される自衛官の皆様就職をサポート、企業の雇用促進に努めております。地域の人口減や少子高齢化等により、中小企業の人材確保が難しくなりつつある中、退職自衛官の再就職は本人のみならず、雇用する側にも大きなメリットとなっております。

近年、世界の治安情勢は先進国においても安定しているとはいえ、日本の防衛についても、今一度考えなくてはならない時期に直面しております。今年の北海道は札幌アジア冬季競技大会の開催も控え、経済効果が期待される一方で、安全を守るという自衛官の皆様のご苦勞と任務の重要性はとて大きいものと感じます。

私共といたしましては、本年も引き続き自衛官の皆様と会員との連携を図り、尽力して参る所存でありますので、ご支援・協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、良い年になりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

### 公益社団法人自衛隊家族会 北海道地域協議会会長

香月 正



新年あけましておめでとうございます。北部方面隊「あかしや」愛読の皆様におかれましては、ご家族共々輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

「全国自衛隊父兄会」は、本年1月1日をもって「自衛隊家族会」に名称を変更したことを「報告」させて頂きました。第7師団を基幹とした南スーダン国連平和維持活動に派遣された隊員の皆さまが、「無事」で帰還されました。この間の「活躍」「苦勞」はいかばかりかとお察しいたします。本日に「苦勞」でした。また、それを温かく見守り支えて頂きましたご家族、関係者の皆さまには心から感謝申し上げます。

さて、現在の募集状況は、少子化・高学歴化の継続、景気回復による雇用改善等で厳しい募集環境にあります。我々家族会も募集広報官として、隊員募集に会員一丸となり、全力で取り組んで参る所存であります。

結び、山崎北部方面総監を核心とされ、如何なる任務を付与されても直ちに即応し、任務完遂できる北部方面隊を目指されることをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

# 迎春



旧年中は大変お世話になりました  
今年も宜しくお願い致します

第7師団長  
陸将  
田浦 正人

最も強い決戦戦力にして  
最も頼もしい戦略予備を目指す  
第7機甲師団

「風不死岳」



# 迎春

新春のお慶びを申し上げます。  
新しい年が皆様にとって佳き年でありますよう  
お祈り申し上げます。

第2師団長  
陸将  
高田克樹

「徹底した訓練」  
「地域との連携」

陸上自衛隊  
第2師団  
2nd Division Northern Army JGSDF

# 謹賀新年

新春を迎えご健勝と  
ご多幸をお祈り  
申し上げます



第11旅団長  
陸将補  
甲斐芳樹

# 士魂

## 第11旅団



藻岩山から見た日の出

# 恭賀新年

新しい年を迎え  
皆様のご健康とご多幸と  
心よりお祈り申し上げます



第5旅団長  
陸将補  
正木 幸夫

# 道東の守り 第5旅団

場所：帯広市郊外

# 謹賀新年



第1高射特科団長  
陸将補 宮本 久徳



北海道防空の要  
第1高射特科団



# 第1特科団

1st Artillery Brigade

# 謹賀新年



第1特科団長  
陸将補 徳川 泰久




職種協同訓練20HSp夜間射撃

# 謹賀新年




自衛隊札幌病院長  
陸将 上野 泰秀

今年も職員一同「心の通う信頼される病院」を目指します

JAPAN SELF DEFENSE FORCES  
自衛隊札幌病院  
SAPPRO HOSPITAL



即応訓練 DMAT(災害派遣医療チーム)訓練 ICLS(C-突然死対処)教育

# 謹賀新年



北海道補給処長  
陸将補 今金 元

常に  
部隊目線に立ち  
創意を尽くして  
真情あふれる  
支援を追求




北海道補給処

### 自衛隊函館地方協力本部



一等海佐 木下 章

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃より、自衛隊函館地方協力本部に対し御支援・御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

本年も、自衛隊函館地方協力本部は、あらゆる環境の変化に即応しつつ、募集、就職援護、予備自衛官等管理、国民保護・災害対策連絡調整及び一般広報業務を部員一人一人が誠実に実施し、任務完遂のため部一丸となって業務に邁進していく所存でありますので、引き続き御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして、平成29年が平安で実り多き一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



### 自衛隊札幌地方協力本部



一等陸佐 篠村 和也

明けましておめでとうございます。旧年中は平素より、自衛隊札幌地方協力本部の募集、援護、予備自衛官等業務に多大な御支援・御協力を賜りましたことに対して厚く御礼申し上げます。

地方協力本部の任務は、我が国を守ることを使命とした自衛隊という組織の維持・充実のため、「自衛官の募集業務」「就職援助業務」「予備自衛官業務」等、自衛官の入隊から退職までをサポートすることにあらゆる努力を傾注することにあります。

このため、札幌地方協力本部は、本年も「らしくあれ」を統率方針に掲げ、初心を忘れず、部員一人一人が自衛隊の広報官であるとの気概を保持しつつ、使命感と執念を持って、貧欲に任務完遂に邁進する所存であります。

結びに、本年が皆様にとって幸多き年となりますようご祈念申し上げますとともに、昨年同様の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。



### 自衛隊帯広地方協力本部



一等陸佐 小橋 史行

勤しんで新年のお慶びを申し上げます。平素は自衛隊帯広地方協力本部に対しまして、格別のご厚情を賜り、ありがとうございます。

お陰様で旧年、自衛隊帯広地方協力本部は還暦の節目を迎えることができました。これもひとえに道東の地域並びに各協力団体の皆様のご支援ご協力は勿論、北部方面総監部や関係部隊の皆様のご指導ご鞭撻の下、歴代部長・本部長を始め、諸先輩方が弛まぬ努力を続け、伝統を築かれてきた賜物であり、皆様にご心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

自衛隊帯広地方協力本部は、平成29年度も引き続き、皆様方と連携して、自衛官の募集、退職自衛官の就職援護、予備自衛官そして緊急時の運用の第一線として、あらゆる任務を完遂して参りますので、今後も変わらぬ、ご支援ご協力そして叱咤激励のほど宜しくお願い申し上げます。

新年が皆様にとりまして良い年となりますよう、心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



### 自衛隊旭川地方協力本部



一等陸佐 阿部 仁一

あけましておめでとうございます。平素より、自衛隊旭川地方協力本部の各業務に対し、多大なご支援・ご協力を賜りまして誠に有り難うございます。

地方協力本部の任務である自衛官の募集、退職自衛官の就職援助、予備自衛官等の管理、地域や協力団体等との連絡調整業務等におきまして、仕事の相手は人、すなわち顧客であります。我々は、顧客の皆様によりご満足頂くことを信念に、部員一人一人が創意を凝らし、使命感を持って業務に取り組み、部員一丸となって任務に邁進して参ります。

本年が皆様にとりまして幸多き年になりますことをご祈念申し上げますとともに、自衛隊旭川地方協力本部に対する変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# 北部方面隊創隊64周年記念行事



6年振りに実施された記念式典

北部方面隊は、10月14日から16日までの間、札幌・丘珠・真駒内駐屯地及び札幌市内ホテル等各施設において、北部方面隊創隊64周年記念行事を行った。

札幌駐屯地において行われた記念式典は、6年振りに実施され、創隊記念日を一同で祝うとともに方面隊の隊員としての誇りを堅持させることにより、更なる一体感を深めることができた。また、総監は、記念式典において、「現在の我が国を取り巻く安全保障環境は冷戦以降、最も厳しく、かつ、国内外において大規模災害も含め、いつ何が起ころともおかしくない状況である。方面隊隊員一同は、常時即応態勢を維持し、厳しい訓練を積み重ね、国民の生命・財産、安心と安全を断固として守ることをここに誓うとともに、部隊に対し「国内外での如何なる

任務も完遂できる強靱かつ健全な部隊」を目指し、尚一層、隊務に精励することを要望する」と式辞を述べた。

記念式典に引き続き、祝賀会食を北海道自衛隊協力会連合会、公益社団法人隊友会北海道隊友会連合会、北海道自衛隊退職者雇用協議会、公益社団法人全国自衛隊父兄会北海道地域協議会の協力四団体との共催で行い北海道内・外から多くの方々の出席を得た。会食では、総監挨拶に続き共催団体を代表し、北海道自衛隊協力会連合会会長伊藤氏が「私どもが誇りに思う北部方面隊が一層精強で地域の皆様とともに精進な部隊になっていただくことを、期待します」と挨拶した。また、共催団体代表及び国会議員による鏡開きの後、元北部方面総監先崎氏による祝杯で会食が行われ記念行事を盛大に祝った。



記念式典における総監訓示



方面最先任上級曹長による万歳三唱



先崎氏による祝杯



伊藤氏によるご挨拶



慰霊碑に献花する総監



厳粛な雰囲気の中行われた追悼式

## 殉職者追悼式

10月15日、真駒内駐屯地において、ご遺族、副知事をはじめご来賓、各部隊長等が多数参列する中、北海道殉職隊員追悼式を行った。

厳粛な雰囲気の中、慰霊碑参拝、式典、昼食会

などを粛々と行い、殉職隊員の御霊に対し、哀悼の意を表明するとともに、自衛隊の使命達成の陰に尊い犠牲があることを改めて認識させる一日となった。



歴代北部方面総監による鏡開き

## 前夜祭

音楽まつり終了後、札幌市内のホテルにおいて、公益社団法人隊友会、北海道隊友会連合会との共催で、前夜祭が約250名の参加者により盛大に行われた。自衛隊退職者・協力者等への感謝及び更なる協力機運の醸成を図った。





九州へ前進する90式戦車



日生台演習場で訓練する10式戦車

北部方面隊は、10月12日から11月15日までの間、長距離機動に必要な統制・調整能力の向上を図るとともに、転地先における訓練を通じ、方面隊の即応性の向上を図ることを目的として、平成28年度協同転地演習（連隊等転地）を実施した。

本演習の特色として、陸海空路による各種移動手段（民間の航空機・船舶及びPFI船舶）を併用して人員約700名、車両約300両（10式戦車、90式戦車、96式装輪装甲車、88式地对艦誘導弾発射機、94式水際地雷敷設置等）の長距離機動を実施した。

本演習は、日出生台演習場及び十文字原演習場において、第2戦車連隊基幹が第1空挺団との對抗方式で防御訓練及び戦車射撃訓練、空自奄美大島分屯基地等において、第27普通科連隊が協同基地警備訓練、種子島において、第1特科団が西部方面特科隊と協同して対艦攻撃訓練を実施、奄美大島において、北部方面施設隊が西部方面隊の第5施設団と協同して水際障害の構成等の訓練を実施した。

本演習において、関係部外機関等との調整、部隊の機動計画の作成等を演練し、機動展開能力を維持・向上させることができた。北部方面隊は引き続きフォースプロバイダーとして、作戦遂行能力を向上させ、総合機動防衛力の構築に向け邁進する。

### 協同転地演習（連隊等転地）

#### 西部方面区への長距離機動

### 北部方面隊演習場秋季整備 「万事、作戦を基準に」 ～隊務の総合一体化～

北部方面隊は、10月31日から11月13日までの間、各師団団長及び直轄各部隊長を整備担任官として、演習場秋季定期整備を実施した。演習場整備は、陸上自衛隊の道場の維持・充実のため演習場の整備を実施し、実効的な抑止・対処の態勢の確立に不可欠な訓練・演習に使用することを目的とし、北海道大演習場、矢白別演習場、上富良野演習場、然別演習場及び鬼志別演習場の整備を主体に、長期整備構想及び中期整備計画に基づき、実施したものである。



大型重機による装軌車道整備



排水機能の改良



停弾堤の整備

### 方面隊職種協同訓練（特科）

#### 特科部隊初の実戦的訓練

北部方面隊は、11月17日から18日の間、第1特科団長（徳川将補）を担任官として、矢白別演習場において、方面隊職種協同訓練（特科）を行った。本訓練には、第2特科連隊、第5特科隊、第11特科隊、東北方面隊より

第9特科連隊が、また、協同部隊として、北部方面施設隊、北部方面航空隊、北部方面通信群、第1電子隊、北部方面情報隊、北海道補給処等が参加し、人員約1600名、車両約400両、火炮25門で実施した。本訓練は、国内最大射

距離約18kmで実弾射撃ができる大変恵まれた環境である矢白別演習場を活用し、総合戦闘力を最大限に発揮できる状況において、情報と火力の戦い方（目標発見即撃破）を追求した新たな戦法を確立することを目的に実施した。

実弾射撃訓練において、火炮に人員用レーダー受信装置を取り付け審判を実施する等、交戦訓練装置（バト）を併用した特科部隊初の実戦的な訓練を実施した。また、広域に展開する敵部隊をあらゆる観測機関・手段をもって標定し、速やかに

に目標情報の処理を行い、火炮により射撃を行う一連の行動を演練した。さらに、射撃後速やかに敵の撃ち返しを回避するため、頻繁な小移動を繰り返しつつ射撃を継続させる等、あるべき姿を追及した訓練を実施した。北部方面隊は、引き続きいついかなる任務にも即応して、これを完遂できるよう、陸上自衛隊のあるべき姿を追求、錬磨に励み、更に足腰の強い部隊の育成に邁進する。



夜間における実弾射撃



国内最大射距離を誇る演習場での実弾射撃



第2特科連隊指揮所

# オピニオンリーダー活動

## 他方面隊部隊等研修

方面隊は10月22日から24日までの間、オピニオンリーダー活動として、中央視閲式に接続した北方面隊オピニオンリーダーの東部方面隊の部隊研修を行った。

本研修は、オピニオンリーダーの方々に中央視閲式を研修して頂くとともに、第1空挺団、陸上自衛隊広報センター及び市ヶ谷ツアーズを研修して頂いた。

22日、習志野駐屯地に所在する第1空挺団を研修、空挺団の概要説明、史料館の研修及び飛出し塔体験を行った。特に、地上11mからの飛出し塔の体験では、二歩踏み出す恐怖を感じました。上空から躊躇することなく飛び出す空挺隊員の姿がわかりました」といった意見を頂き、任務の困難さをより理解して頂いた。

23日、朝霞駐屯地で行われた、平成28年度自衛隊記念日「中央視閲式」は、人員約4000人、車両約280両、航空機50機が参加した。自衛官の整然と二糸乱れみ行進を見学し、自衛隊の精進性を理解して頂いた。その後、同駐屯地にある陸上自衛隊広報センターを研修し、陸上自衛隊の担う幅広い役割、災害派遣など国内における活動や海外における国際平和協力活動、また、警察予備隊からの自衛隊の変遷について認識していただいた。

24日、市ヶ谷駐屯地において、市ヶ谷ツアーズに参加して、防衛省及び市ヶ谷記念館を見学する等、日本を代表する事象を研修して、日本の防衛問題の認識の一助とした。

本研修を終えた参加者からは「自衛隊の活動や募集に関して色々な所で発言し協力したい」等貴重な意見を頂き、大変実りのある研修となった。



飛出し塔の体験



朝霞訓練場で行われた視閲式

### 人生に潤いを与える言葉

『菜根譚(さいこんたん)』が語る人生の生き方は、物事に捉われないで、自分の道を進むことを述べています。

水流、急に任せて境常に静かなり、  
 花落つること頻りなりと雖も意自から閑なり。  
 人常に此の意を持して、  
 以て事に応じ物に接すれば、身心何等の自在ぞ。

(後集・63)

即ち「水流がゆかに急であっても、少しも流れる音がしない、あたりは常に静かであり、花の散ることも頻りにあるが自分の心は自ら閑かて、少しも騒がしくないというのです。

人、常にこのような心持ちで、すべての事に應じ、すべての物に接すれば心身ともに自在である」というのです。

沢庵(たくわん) 禅師の言葉に「前後際断(さいぜん)とあります。つまり、前(過去)に捉われず、後(未来)を思い煩(わづら)わなければ心はいつでも自由自在に己が道を進むことができるというのです。哲学者の西田幾多郎はこういう言葉を遺しています。

“人は人 吾(わ)はわれ也  
 とにかく吾(わ)行く道を 吾(わ)はいくなり”と。

また、“この道より我を生かす道なし この道を進く”と武者小路実篤は語っています。(昭和14年)

心の健康相談 メンタルヘルス・カウンセラー 根本和雄

# 南スーダン派遣施設隊第10次要員任務完遂

## みんな笑顔で無事帰国

12月16日、国連南スーダン共和国ミッション(UNMISS)派遣施設隊第10次要員主力第2波が新千歳空港に到着し、任務を完了し帰国した。

第7師団隷下の第11普通科連隊、中力(ちゅうりき)修一等陸佐を隊長とする施設隊のタスク(任務)の完了をもって、第1次要員から実施して

11月15日、施設器材小隊が実施したルワンダ航空隊敷地整地のタスク(任務)の完了をもって、第1次要員から実施して

南スーダンの首都ジュバ及び同周辺においてUNMISSのマンデートに基づき、文民の保護及び人道支援の環境作りを実施した。

11月15日、施設器材小隊が実施したルワンダ航空隊敷地整地のタスク(任務)の完了をもって、第1次要員から実施して

きた総タスク数が5000タスク達成は、第10次要員の隊員一人ひとりが一丸となり任務遂行したことで成し得たものであり、全員が隊長要望事項である「誇りと感謝を胸に実践した成果である。南スーダンの平和と安定に寄与したものと確信している」と述べ、

これまでの努力に感謝の意を表した。

16日、新千歳空港では、主力第2派が帰国し、到着口には、隊員家族や派遣元部隊長等が出迎え、派遣隊員達は黒く日焼けした顔に笑みを浮かべ、約半年ぶりとなる家族との再会を喜び、全員が無事笑顔で帰国した。



現地における施設隊の活動(道路整備)



第9次隊より看板の引き継ぎ(左:相園 1 佐 右:中力 1 佐)



500タスク達成記念撮影



主力第2派帰国(12月16日:新千歳空港)



家族との再会を喜ぶ隊員(12月3日:主力1波)



東千歳駐屯地出迎え(11月20日:先発隊)